

第6回小樽市タクシー事業適正化・活性化協議会議事概要

日 時：平成25年2月8日（金） 14：00～15：40

場 所：小樽市役所消防庁舎6階講堂

出席者：委員13名、事務局4名、傍聴者9名

1. 開 会

【野崎会長】

定刻となりましたので、ただいまから第6回小樽市タクシー事業適正化・活性化協議会を開催いたします。委員の皆様方には、お足元の悪い中、またたいへんお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

ご挨拶の前に、まずは会長と事務局長の任期切れについてお詫びをしなければなりません。先般、書面にて皆様に要綱改正をご提案させて頂きましてご承認頂きました。手続きが前後しまして申し訳ありませんでした。

それでは、議事に先立ちまして、一言ご挨拶させて頂きます。この協議会も回を重ねまして6回目となりますが、平成21年10月にタクシー特措法が成立し、本協議会において22年3月に小樽市における地域計画が策定され、タクシー事業者及び法人協会、個人協同組合の事業者団体並びに行政等が共同して取り組みを進めてきましたが、24年9月末に3年の期限を迎え、国土交通省においてこの間の検証を行った結果、特定地域の指定要件に引き続き合致しているとして再指定され、3年間延長されたところであります。

本日の協議会は、平成23年2月から開催しているフォローアップ協議会の第3回目という位置づけで開催します。

後ほど事務局より、特定事業計画の取組状況等についての経過報告と活性化に向けた取組の提案があるかと思いますが、委員の皆様におかれましては、本日までの進捗状況を踏まえ地域計画の検証を行っていただきまして、今後の取組方針についてご指導を頂きますようお願い申し上げます。

それでは、事務局より配付資料の確認等をお願いします。

【事務局】

事務局の工藤でございます。よろしくお願いたします。

資料確認の前に、昨年2月の第5回協議会以降、人事異動等により委員の皆様に変更がありましたので、新たに委員となられた方々のご紹介をいたします。

- ・小樽ハイヤー協会会長・坂田委員に代わり、同・吉野 彰哲様です。
- ・小樽北交ハイヤー(株)代表取締役・寺林委員に代わり、同・柿崎 豊彦様です。

- ・(株)ミドリ小型ハイヤー代表取締役・宮越委員に代わり、同・福士 和己様です。
- ・(社)小樽観光協会・専務理事・赤間委員に代わり、同・中塚 茂様です。
- ・当協議会の会長・北海道運輸局札幌運輸支局長・今委員に代わり、同・野崎次夫、以上でございます。

また、空席となっていました「小樽商工会議所様」ですが、前専務理事・中松委員に代わり、同・山崎 範夫様に委員をお願いしたところご承諾を頂きましたので、本日の出席となっております。なお、全国中立労組政策推進会議様ですが、後任が決まらず空席の状況が続いています。先日確認したところ、現時点でも後任が選任されていないということでしたので、欠席となっております。

続きまして、代理出席のご報告ですが、小樽消費者協会様からは本橋委員に代わり板橋副会長様、小樽警察署様からは長田委員に代わり工藤課長代理様にご出席を頂いております。以上から、委員総数14人中、代理を含めた出席数13人で、要綱第5条13項に定める過半数の出席要件を満たしておりますので、本日の協議会の成立をご報告いたします。

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

なお、随行者の方のご発言はご遠慮願います。

2. 議 題

【野崎会長】

それでは、これより第6回協議会の議事に入ります。これからの進行は、座長にお任せいたします。千葉座長、よろしく願いいたします。

【千葉座長】

それでは、議事次第に沿って進めてまいります。

本日の議題である「小樽市における地域計画の進捗状況等」について、事務局より説明してください。

(事務局より「小樽市における地域計画の進捗状況等について」(資料1～4)について説明)

【千葉座長】

ありがとうございました。

それでは、ただいま事務局から説明のあった「地域計画の進捗状況等」について、ご意見等がありましたらお願いいたします。

【吉野委員】

今回で6回目の協議会ですが、この協議会の成果についてご報告致します。平成21年に1回目の協議会がありましたが、運賃問題、減車問題等をご審議いただきました。各社が計画を出して、現状の台数・運賃に落ち着いたのが平成23年度末になっています。各社が計画を出し切った中でどのような推移になっているのかを見るのが今年度となっています。私どもとしては、市民の方に信頼してもらってタクシーに乗ってもらうためにこの1年間力を入れているのは社員教育、外部指導等によって駐車違反や乱暴運転をなくすようにしています。資料15ページにもありますとおり、平成24年度については概ね過去の年と比べても下回ることはありません。概ね良い方向に向かっており、成果はあったと考えています。ただ、減車もしているのです。小樽市内の全体の収入としてはダウンしているところです。労使共々、劇的に良くなっているという認識はありません。これから良くしていくためには、「幹の部分」である従来のタクシーの仕事での売り上げを力強くしていくよう取り組んでいくことです。乗務員数が減少しているのです。若い人たちにもこの仕事に就いてもらえるように活動しているところです。タクシーはきつい・危険なイメージがあるので、そのようなイメージを改善していくように「幹の部分」をもっと強くする必要があります。と思います。

【千葉座長】

タクシーに限らず公共交通全体に言えることですが、交通事業とは経済学では「派生事業」と言われています。派生事業は本来事業があって初めて成立するものです。交通事業を伸ばすということは本来事業を伸ばすことが肝要です。本来事業がどこから伸びるかということ、1つは居住人口が増加すること、もう1つは交流人口が増加することが大切です。そのため、外国人旅行者等に対する支援も重要になってきます。

消費者サイドから見ていかがですか。

【板橋委員代理】

私個人としては、皆様の対応は良いと思います。ただ、北海道新聞の昨年9月24日の「読者の声」欄に個人タクシーに関する投稿がありました。小樽市の個人タクシーに関する苦言の内容となっています。小樽個人タクシー協同組

合さんはこの記事はご存じですか。

【小関委員】

承知しています。大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

【板橋委員代理】

その方は石狩市の方ですよ。

【小関委員】

はい、石狩市に住むAさんです。

【板橋委員代理】

その方は時々小樽に来られるとのこと。普段は駅から荷物を持って個人タクシーを利用するそうです。投稿によると、挨拶が無くいかなものか、観光地である小樽のタクシーとしては良くない、と。そのような対応は非常に残念です。詳細について小樽個人タクシー協同組合さんはご存じですか。

【小関委員】

はい、徹底的に調査を行い、そのような指摘があった旨を周知しました。

【板橋委員代理】

その方は時々小樽に来られるそうですが、個人タクシーはあまり感じが良くないと思っているそうです。

【小関委員】

小樽消費者協会さん側からも是非事業者名を特定していただいでご指摘いただければ指導させていただきます。

【野崎会長】

組合に加入していない事業者も7事業者いますので、もしかしたらその方も知れません。

【小関委員】

記事の件については小樽駅から乗車している、とのこと。駅構内には組合員でなければ入れませんので、組合員だと思います。

【板橋委員代理】

一方的に乗務員が悪いというわけではなく、乗車する方の対応にも問題がある場合も考えられます。

【小関委員】

乗務員によっては自らを正当化する場合が多いので、苦情の内容によっては私が自ら指導することもあります。襟を正すように努力しています。

【千葉座長】

10個の良いことがあっても1個の悪いことがあるとその悪いことが表に出てしまうことが多いです。

【板橋委員代理】

Aさんにお会いすることがあったら今のお話をお伝えします。

【野崎会長】

支局にも法人・個人含めて苦情が多く寄せられます。支局としては両者から話を聞いて、指導するべき点があれば指導します。それ以上のものを要求されても支局の管轄外になってしまうものがありますが、支局に話をいただいても結構かと思えます。

【板橋委員代理】

当協会の者が昼間に、小樽ハイヤー協会さんに忘れ物の関係で問い合わせの電話をかけたのですが、業務が終了した旨の留守番電話になってしまいます。どうなっているのですか。

【事務局（ハイヤー協会）】

事務所には私1人だけですので、私が外出等の際には留守番電話になります。他の者に苦情の電話を対応させると、問題が大きくなる可能性があるので私が対応するようにしています。

【吉野委員】

今の小樽消費者協会さんのお話を伺い、留守番電話のメッセージの流し方を工夫する必要があると思いますので、検討させていただきます。

【千葉座長】

苦情処理はとても大切であると同時に、対応は非常に難しいと聞いています。対応を間違えると大きな感情のもつれにつながってしまいますので注意が必要です。

それでは、議事次第に沿って進めてまいります。

議題（２）「今後の活性化に向けた取り組みの提案」について、事務局より説明してください。

（事務局より「今後の活性化に向けた取り組みの提案」（資料５）について説明）

【千葉座長】

資料２２ページにある「買物難民」の外出支援については個人的に興味があるところです。現在、道内３０箇所ほどのバスの再編に関する委員会のお手伝いをさせていただいておりますが、色々なところでバス路線が廃止されています。地方都市に住む高齢者は買い物にすら行けない状況が急増しています。

最近は大都市圏の中の住宅団地でも同じ状況が生まれています。例えば東京周辺の大きな住宅団地が過疎化・高齢化しています。道内言えば北広島団地や帯広の大空団地などです。バス路線がかなり廃止されています。バス事業はある一定以上の居住率が無いと成り立たないものです。さらに、定常的な行動パターンが繰り返されないといけません。多くの人が一定の時間帯に定常的な交通行動を繰り返される場所であればバスが適しています。ところが、団地の中で高齢化が進むと通勤の必要がなく、また、子供がいなくなるため通学の需要もありません。バス需要がどんどん減少し、輸送密度が薄くなってきます。また交通行動も非定常となります。一方、バス事業は、路線・時間が決まっているため、人がいてもいなくても走らないといけないので、費用がかさみ、どんどん撤退してしまいます。バスと対極にある公共交通機関がタクシーです。方向もアトランダムであり、時間もバラバラで大丈夫です。このような場合にはタクシーが適しています。タクシーはこれからの地方の重要な公共交通機関であるとも言われています。その中で、乗合タクシー等についても行政の方で考えていると思います。潜在的な需要はかなりあると思います。

また、同ページの「児童・学童」送迎の代替については、都市圏であればあるほどニーズが高くなってくると思います。特に交通事故に遭わないためだけでなく、防犯上の観点からもニーズが高まっていると思います。

同ページの「熊」等野生動物出没時の児童等輸送の支援については北海道特有の事象かと思います。

資料２３ページの「ユニバーサルデザインタクシー導入の取り組みについて」

は、高齢者施設等において病院に行かなければならない時が多くなっており、そのような時にこのような車のニーズが高まっています。このような車を施設で用意するのは大変ですので、タクシー事業者でこのような潜在的な需要を見つけていく必要があります。

【小関委員】

ユニバーサルデザインタクシーについては以前の話になりますが、このような車両は個人タクシーにこそ最適という話がありました。ところが、福祉タクシーの新規参入等によって個人タクシーが入る余地がなくなってしまったのが現状です。

【吉野委員】

全国的なタクシー業界の流れとして、このような車の制作をトヨタにも働きかけているところです。ただ、小樽の高齢化のスピードが早すぎるのが全国との流れの違いです。

【小関委員】

資料25ページの「北海道観光おもてなしタクシー乗務員認定制度」については札幌で実施しているものですが、これは是非小樽でも実施したいです。

【中塚委員】

札幌の場合には北海道観光振興機構がサポートしていると聞いているので、その辺についても検討していきたいと思います。

【野崎会長】

導入する場合には事業者単独ではできないので、小樽観光協会や自治体等に入ってもらって運営していく必要があるかと思いますので、そのような土台作りが重要となります。

【小関委員】

試験制度を設けることはできますか。

【野崎会長】

可能かと思います。

【千葉座長】

何年か前に伊豆の修善寺温泉に行った際、ある旅館に宿泊しましたが、駅からの送迎の車が全くありませんでした。案内所で聞いたら「この地域では旅館の送迎はなく、すべてタクシーで移動して下さい」とのことでした。帰りにタクシーに乗車した際、乗務員から旅館のことについて根掘り葉掘り聞かれました。降車の際、乗務員から「実はこの地域ではタクシー業界と旅館業界がタイアップしており、旅館の送迎をなくす代わりに、タクシー事業者が旅館の評判を直に聞いてその内容を旅館に伝え、観光地の魅力の底上げを図っている」という話を聞きました。このような取り組みは日本中でここだけではないかと感心した、という話をご紹介させていただきました。

それでは、事務局から何か連絡事項はありますか。

【事務局】

本協議会において議論されました内容を基に、引き続き事業者の皆様には、適正化・活性化に向けての取り組みをお願いする次第であります。

なお、当協議会は今後も引き続き行っていくこととなりますが、次回開催の日程等につきましては、現時点では申し上げることはできません。

目処といたしましては、平成24年度の実績がまとまります夏以降となりますが、確定次第皆様にご案内をさせていただきます。

【千葉座長】

ありがとうございました。

委員各位におかれましては、活発なご議論を頂き、ありがとうございました。

本日の議事概要は北海道運輸局のホームページその他で公開いたしますので、各委員のご了解をお願いいたします。

それではこれで進行を会長にお返しいたします。

【野崎会長】

千葉座長におかれましては、議事の円滑な進行、誠にありがとうございました。

また、委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見等頂き、大変ありがとうございました。引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第6回小樽市タクシー事業適正化・活性化協議会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。

3. 閉 会

- 資料 1 特定事業計画の進捗状況
- 資料 2 小樽市におけるタクシー業界の取り組み状況
- 資料 3 事業再構築の進捗状況
- 資料 4 地域計画における特定事業の一覧（参考）
- 資料 5 今後の活性化に向けた取り組みの提案